

平成 28 年 3 月 11 日

各 位

ゲンダイエージェンシー株式会社
代表取締役 CEO 山本 正卓
(コード番号: 2411)
問い合わせ先 取締役 CFO 高 秀一
TEL 03-5308-9888(代表)

平成 28 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

本日別途公表する「特別損失の計上に関するお知らせ」に記載のとおり、今回の特別損失の計上を踏まえて、当期の業績予想を新たに見直した結果、平成 27 年 10 月 16 日付「平成 28 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました平成 28 年 3 月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

平成 28 年 3 月期通期連結業績予想の修正 (平成 27 年 4 月 1 日 ~ 平成 28 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想 (A) (平成 27 年 10 月 16 日発表)	16,000	1,000	1,000	650	41.40
今回修正予想 (B)	16,700	1,120	1,120	490	29.51
増減額 (B - A)	700	120	120	△160	
増減率 (%)	4.4	12.0	12.0	△24.6	
(参考) 前年同期 (平成 27 年 3 月期) 実績	17,284	1,300	1,345	805	51.08

(修正の理由)

売上高については、昨年 12 月におけるパチンコホール新規出店案件にかかる告知案件の獲得が、当初予想を若干上回ったこと、および、足元の第 4 四半期における受注についても、概ね従来予想通りに推移していることから、従来予想比で 700 百万円増加となる見込みです。

営業利益、及び経常利益については、主として売上高の増加に伴うマージン増加の影響により、それぞれ従来予想比で 120 百万円増加となる見込みです。

親会社株主に帰属する当期純利益については、上記のマージン増加による増益要因があるものの、一方で、当第 3 四半期において、保有株式の一部について評価損 53 百万円を計上したことに加え、本日別途公表する「特別損失の計上に関するお知らせ」に記載のとおり、当期末において、「のれん」の減損損失 125 百万円及び非上場会社株式の実質価額下落に伴う投資有価証券評価損 101 百万円を新たに計上することにより、税効果控除後の影響額として、従来予想比で△200 百万円の減少が見込まれます。以上の結果、従来予想比で△160 百万円減少となる見込みです。

なお、当社では、配当の基本方針として、連結配当性向 50%を目安としておりますが、今回の業績予想の修正に伴う、配当予想の修正はありません。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上